

7月1日(土)～7日(金)



「夏詣」の期間中、  
多彩なプログラムが予定されています。  
お詣りとあわせてお楽しみください。

\* 詳しくは、プログラムをご参照ください。

冬の振り袖を浴衣に替えて  
の夏のお詣り。境内では「夏詣  
茶屋」「流しそうめん」「紙漉  
き、藍染めなどの和事体験」  
「夏詣の歌披露」「江戸伝統の  
七夕飾り」などなど、夏の新し  
い風物詩となるよう企画立て  
をして、皆さまのお越しをお  
待ち申しあげます。

六月三十日「夏越の大祓」。  
その翌日は富士山の山開き、  
江戸の時代、富士参りのでき  
ない庶民は地元の浅間神社に  
参詣。浅草観音裏「浅草富士浅  
間神社」もそれにあたります。  
七月七日は「七夕の日」。そ  
して江戸の時代には「井戸洗  
い」の日でもありました。江戸  
市中一斉に行われる井戸洗い  
行事です。浅草神社「井戸洗い  
神事」にもご注目ください。

新しい習慣が根づきますよ  
う、台東区「浅草神社」(三社さ  
ま)にてこの「夏詣」の習慣づ  
くりの活動を二〇一四年夏に  
スタートさせました。

It is Japanese tradition to visit a shrine on New Year's Days to purify one's mind and soul with coming a new year. The number of the people who visit to a shrine is counted more than 100million. This act is called Hatsumoude (literally translated as, the First Worship).

Now we propose with half a year gone by, we will visit the shrine again to cleanse our sins they have accumulated through the first half of the year and to pray for peace and health for the second half of the year. Natsu means summertime in Japanese so Natsumoude is the Summertime Worship.

6月30日(金)  
夏詣\*前夜祭



「茅の輪(ちのわ)くぐり」  
六月三十日(金)のこの日、本殿にて夏越の大祓を受け、  
本殿前に設えられた茅の輪をくぐり詣ります。

\* 「夏越の大祓」は、午後三時。

我が国の守り伝えるべき風  
習となるよう、共に育ててい  
きたいと願っています。

わたしたちは、新年同様に  
過ぎし半年の無事に感謝し、  
来る半年の更なる平穏を願  
い、七月一日から神社・仏閣  
を改めて詣でる、ニッポンの  
新しい夏の暮らしの習慣を  
「夏詣(なつもうで)」と名付け  
て提唱を始めています。

その、年の始まりから六カ  
月後、同じく罪穢れを祓い清  
める「夏越の大祓」が六月晦  
日、各地の神社では行われて  
います。  
しかしながらその翌日、新  
年のように神社・仏閣を詣で  
る習慣はありませんでした。

我々日本人は大晦日に「年  
越の大祓」で一年の罪穢れを  
祓い清め、翌日の元旦からは  
新しい年の始まりに、その年  
の平穏を願う神社・仏閣に詣  
でる「初詣」を行います。

Oharac held in June is called Nagoshi shinji, Minazukibarac (summer purification rites held on the last day of the sixth lunar month). This is an event to remove committed sins and stains as well as Toshikoshi no Oharac (Annual Shinto ritual of purification) on the last day of December.